

アルプラスK3テラスドア 組立取付説明書

説明書番号
MI-1398
表 改-1

グレチャン一覧 (ガラス溝幅26mm用)								
専用グレチャン								
ガラス厚	12mm	13mm	14mm	16mm	18mm	19mm	20mm	22mm
製品記号	SGCA2612	SGCA2614	SGCA2616	SGCA2618	SGCA2619	SGCA2621	SGCA2622	
化粧格子取付	×	○ (3-A6-3の場合)	○ (3-A6-4の場合)	×	×	○ (3-A12-3の場合)	○ (3-A12-4の場合)	×
姿図								

■販売店様・加工店様へのお願い。

・本説明書をお読みになる前に同封の『アルプラス・アリツ 取扱い上のご注意とお願い』を必ず先にお読み下さい。

■本説明書では、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されますので、「必ず行なっていたく事」を示しています。

※化粧格子取付 (○・・・取付可 ×・・・取付不可)

化粧格子取付の際は使用するガラス厚より1mm大きいグレチャンをお使い下さい。また、取付可能なガラス厚に制限がありますのでご注意ください。

枠組立ビスセット一覧

①	組立ビス (枠)
	4×40ナベ

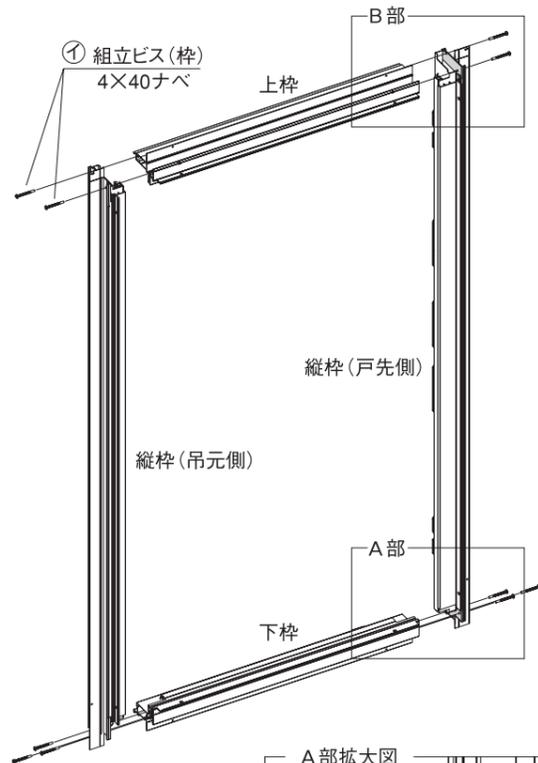
ドア本体組立ビスセット一覧

ⓐ	ⓑ	ⓒ別売中棧と同梱
組立ビス (障子)	ビスキャップ	組立ビス (中棧)
4×70ナベ	φ8用	4×70ナベ

枠取付ビスセット一覧

ⓓ	ⓔ	ⓕ	ⓖ	ⓗ	ⓘ
額縁取付用木ネジ	フィン用釘	躯体取付用木ネジ	クローザースペーサー	クローザーシール	下枠取付用木ネジ
3.1×20丸皿	2.1×32	3.8×38特皿			3.5×32丸

1 枠の組み立て



①アングル部分の突合せ部に隙間が出ない様、注意して組み立て下さい。

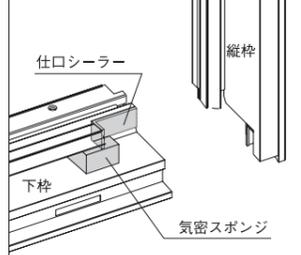
お願い

- ・シーラーが上・下枠にしっかり当たっているか確認してから組立ビスを締付けて下さい。漏水の原因になるおそれがあります。
- ・仕口シーラーが上下枠の両端に、気密スポンジが下枠の両端に付いているかを確認して下さい。(A部拡大図)

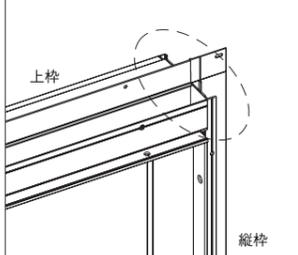
ポイント

- ・シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないことを確認して下さい。
- ・シーラーが上・下枠形状にそって、均一にはみだしていることを確認してください。(B部拡大図)

A部拡大図



B部拡大図



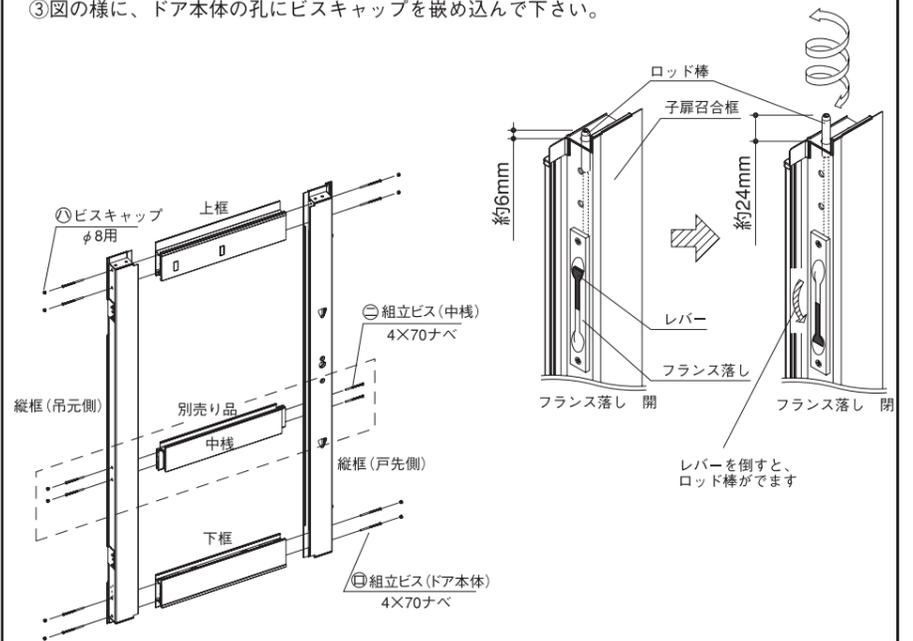
2 ドア本体の組み立て

①ガラスにグレチャン (別売) を巻き、ドア本体を組み立てて下さい。

お願い 両開きドア・子扉の組立の場合は、子扉召合框の上下端についているフランス落しを閉の状態にしてロッド棒を出します。次にロッド棒の先端にマイナスドライバー等を使用してロッド棒を回転させて外します (右図参照)。

※組立後、ロッド棒の再取付は、フランス落し閉の状態で行ってください。

- 別売りの中棧を使用する場合は、戸先側縦枠についている錠ケースを一度外し、中棧を組んだ後、錠ケースを付け直します。両開きの場合も、子扉召合框についているラッチ・主錠鎌受けを一度外し、中棧を組んだ後、ラッチ・主錠鎌受けを付け直します。
- ③図の様に、ドア本体の孔にビスキャップを嵌め込んで下さい。



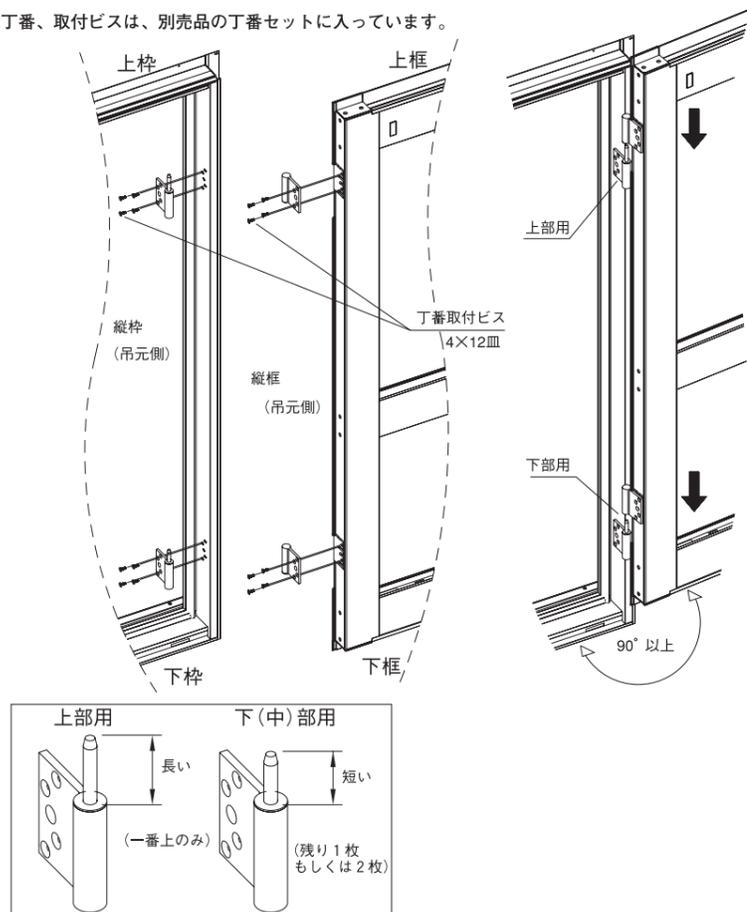
ポイント ガラス組み込み時にグレチャンがきつい場合は、グレチャンに中性洗剤等を塗布すると組み込み易くなります。お試し下さい。

3 丁番の取り付け

①丁番を上部用と下部用に注意して、枠とドア本体に取り付けて下さい。

②ドア本体を枠に吊り込んで下さい。

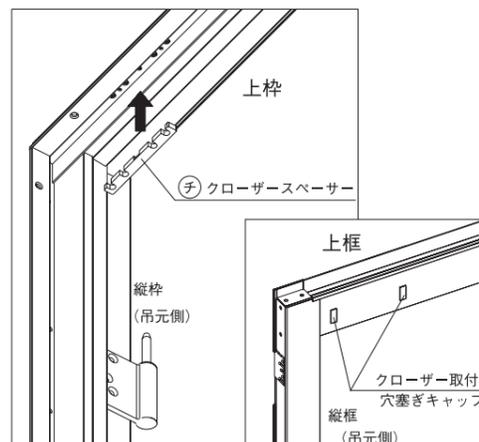
※丁番、取付ビスは、別売品の丁番セットに入っています。



4 ドアクローザーの取り付け

・内付ドアクローザーの場合

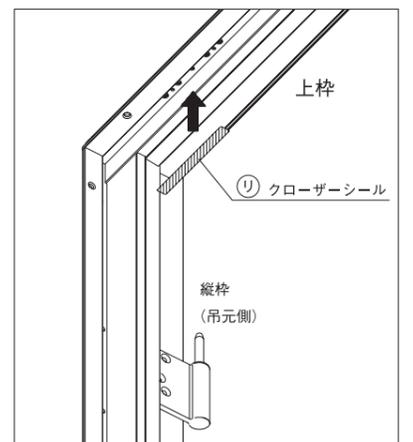
- お願い** クローザースペーサーを上枠に取り付けてから、ドアクローザーの取付を行って下さい。また上框室内側についているクローザー取付穴塞ぎキャップは外して下さい。
- 以降の取付手順はドアクローザー同梱の取付説明書をご参照下さい。



・あおり止め

・外付ドアクローザーの場合

- クローザーシールを上枠に貼り付けます。
- あおり止め又は、外付ドアクローザーを取付ける場合、以降の取付手順は、同梱の取付説明書をご参照下さい。
- 外付ドアクローザーを取付ける場合は、クローザーに直接雨水が当たらない様に庇等の取付をお願いします。

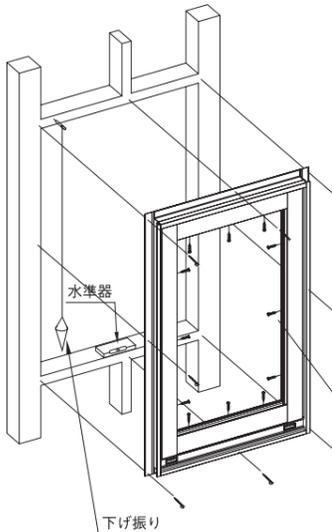


ドアクローザーを取付けない場合は、上記手順の①をお願いします。

5 躯体への取り付け

単体ドアの場合 (③以降の手順は共通です。)

- ① ドア本体の垂れ下がり・光漏れ・枠の変形防止のために、枠を躯体に取付けるときは、必ず枠にドア本体を吊り込んだ状態で取付けをしてください。
- ② 開口部の水平・垂直を確認し枠を仮止めします。
両開きドアの場合 (③以降の手順は共通です。)

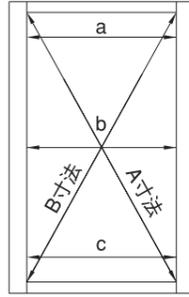


- ① 開口部の水平・垂直を確認し枠を仮止めします。
(両縦枠上端に、フィン用釘を各2本仮止めしてください)
- ② 次に子扉、本体の順に枠に建て込みます。建て込みの際には、子扉、本体の下框を下枠の下がり止めブロックにしっかりと乗せて下さい。
- ③ 枠を調整し固定します。

お願い 枠取付注意事項

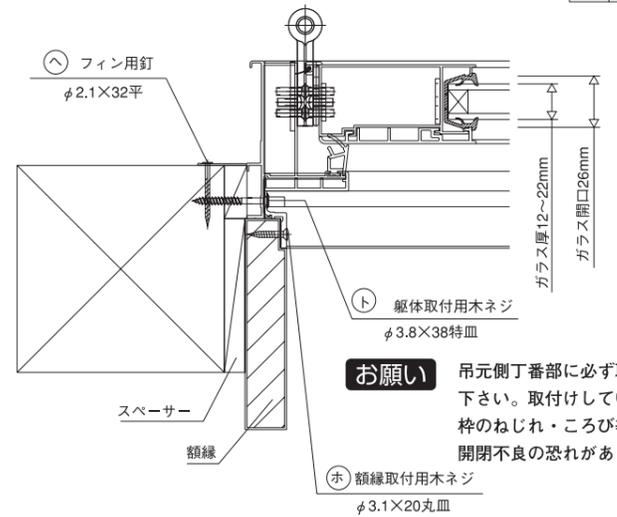
サッシの性能保持のため、枠を仮止めし、下記の1～3を必ず確認した後に取付けを行なって下さい。

- 1: 下枠の取付は、必ず水準器を当てて、水平にして下さい。
- 2: 必ず対角寸法A、B差を3mm以内を押さえて下さい。
- 3: 枠の内法幅を測定しa、b、cの差を±1.5mm以内にして下さい。

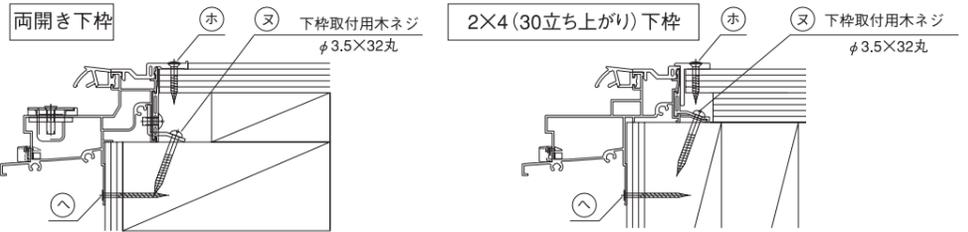


- ④ **お願い** 両開きドア枠及び2×4枠 (30立ち上がり) の場合、下枠中央付近に下枠取付用木ネジを締め付けて下さい。(右図参照)

- ⑤ **お願い** 躯体取付後、下枠に付いている下がり止めブロックを取り外して下さい。(左図参照)



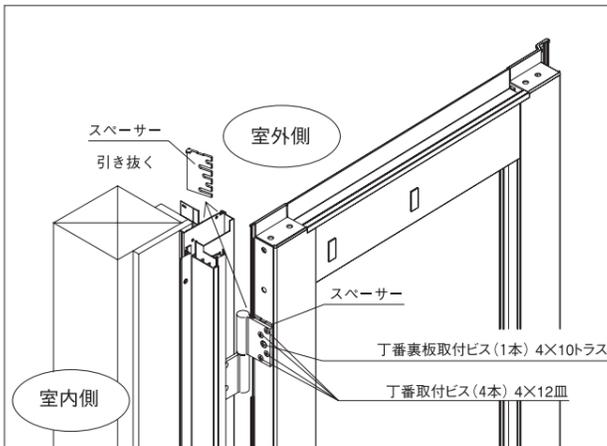
お願い 吊元側丁番部に必ず取付けて下さい。取付けしていないと枠のねじれ・こぼれ等により開閉不良の恐れがあります。



6 建付け調整

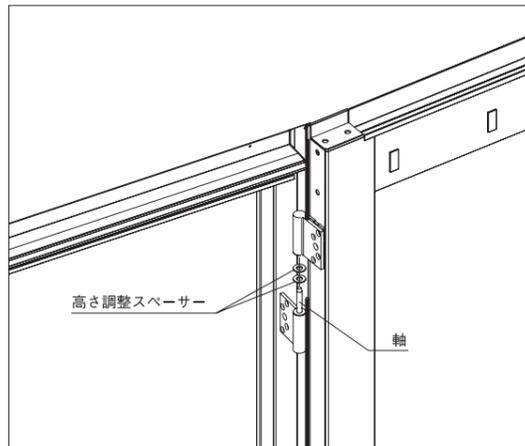
・吊元側への調整

- ① ドア本体の丁番取付ビス4本と中央の丁番裏板取付ビスを緩めます。(ビスは完全に取り外さないで下さい。また、丁番裏板取付ビスを緩めすぎると裏板が落下しますのでご注意下さい。)
- ② ドア本体に取り付いているスペーサーを引き抜いて外して下さい。
- ③ スペーサーを2枚外すと3.0mm
スペーサーを中央で切って1枚外すと1.5mm調整できます。
- ④ 丁番取付ビス4本と裏板取付ビスを締め付けて下さい。



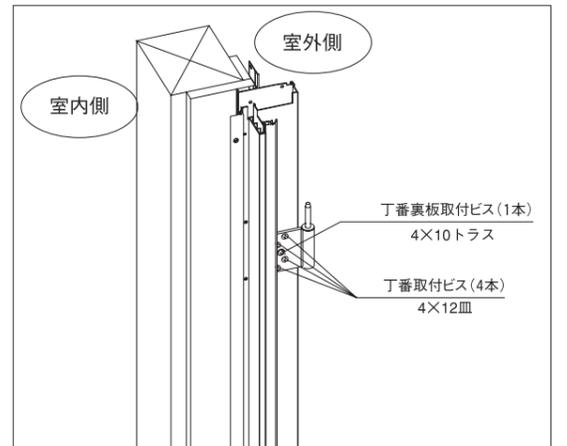
・上方向への調整

- ① ドア本体を枠から外し、丁番の軸に高さ調整スペーサーを入れます。
- ② スペーサーを2枚入れると3.0mm
スペーサーを1枚入れると1.5mmドア本体が上がります。



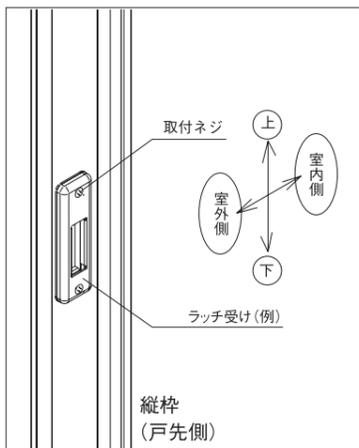
・前後方向の調整

- ① 枠側丁番の取付ビス4本と中央の丁番裏板取付ビスを緩めます。(ビスは完全に取り外さないで下さい。また、丁番裏板取付ビスを緩めすぎると裏板が落下しますのでご注意下さい。)
- ② ビスを緩めた後、丁番を室内または室外側の調整位置に合わせて下さい。室内側に2mm、室外側に2mm、ドア本体を移動させる事ができます。
- ③ 丁番取付ビス4本と裏板取付ビスを締め付けて下さい。



・錠受けの調整

- ① ラッチがかからない場合は錠受けの取付ネジを緩めて、錠受けの位置を調整後、取付ネジをしっかり締めて下さい。



<調整範囲>

グレモンローラー受け

- ・ 室外4mm、室内4mm
- ・ 上下4mm

補助錠鎌受け

- ・ 室外4mm、室内4mm
- ・ 上下4mm

ラッチ受け

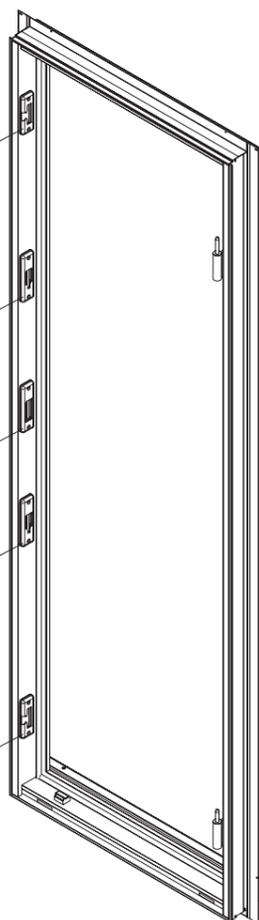
- ・ 室外4mm、室内4mm
- ・ 上下4mm

主錠鎌受け

- ・ 室外4mm、室内4mm
- ・ 上下4mm

グレモンローラー受け

- ・ 室外4mm、室内4mm
- ・ 上下4mm



化粧格子を取り付ける場合

お願い

アリッツテラスドアの化粧格子はグレチャン巻きで固定するため使用するガラス厚より1mm大きいグレチャンをお使い下さい。また、取付可能なガラス厚に制限がありますのでご注意ください。(表の「グレチャン一覧」をご参照下さい)

※アルプラクラステラスドアの化粧格子は室内側のみ取付可能です。

